

幼小交流～秋遊び～

12.1

12月1日（木）に、附属幼稚園年長児と附属小学校1年生児童との幼小交流が行われました。会の始まりと終わりには、附属幼稚園を卒園した子どもたちが歓迎のあいさつと終わりのあいさつを堂々とする姿が見られました。附属幼稚園では自分の思いを表現できるように、みんなの前で話をする機会を多くもっています。その成果が小学生になってしっかりと表れていました。交流会が始まると、1年生が年長児の手を引き、遊びの場へと案内する姿が見られました。ドングリや松ぼっくりを使ってつくったけん玉やボーリング、迷路などのおもちゃが準備してあり、年長児は遊びに夢中になっていました。幼稚園でも、ドングリや落ち葉などを使った制作をしています。年長児の制作に、今回の交流での経験が生かされるのではないのでしょうか。会の最後には、年長児がみんなの前で話をする機会があり、「ドングリを使った迷路が楽しかったです。」「松ぼっくりのけん玉が面白かったです。」と自分の思いを言葉にして表現することができました。昨年まで一緒に過ごしていた子どもたちが、小学生と幼稚園児という関係で交流ができるのは附属学校園の良さだと思います。来年は年長児が1年生になって今の年中児と交流することになります。附属幼稚園と附属小学校のつながりをさらに深め、円滑な幼小接続を目指していきます。

